２０　　年　　月　　日

選 定 理 由 書

１．品　名：

２．選定品：*・物品の場合はメーカ名、製品名、型式番号等、役務（請負工事、外注等）の場合は主な仕様を記載してください。*

３．選定先業者：

４．研究及び物品の概要等：

*・実施する研究内容を記載した上で、当該選定品の研究遂行上の必要性、利用目的を記載してください。*

*・選定品が物品の場合、必要不可欠な機能、性能等の仕様や納期等の条件を記載し、表等を用いて選定した理由を記載してください。*

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| *比較項目* | *選定品* | *類 似 品* | | |
| *製品Ａ* | *製品Ｂ* | *製品Ｃ* | *製品Ｄ* |
| *○○機能* | *○* | *○* | *○* | *×* |
| *□□機能（加工精度●nm以下）* | *２０* | *10* | *１００* | *２０* |
| *納期（●ヶ月以内）* | *１ヶ月* | *3ヶ月* | *５ヶ月* | *１ヶ月* |

５．業者選定理由及び価格の妥当性（機種選定理由書の場合で、当該特定製品の相見積を行う際は記載不要）：

*（業者選定理由）*

*・業者が１社に特定される理由を具体的に記載してください。以下の例を選択するのではなく、当該選定に至った具体的な理由を詳細に記載してください。なお、単に過去に納入実績がある等の理由のみでは認められません。*

*（例）*

*・選定品の販売代理店が1社のみである。（代理店証明書を添付）*

*・研究で得られるデータの連続性を確保するために必要不可欠かつ代替できない特殊機器、材料、ソフトウェア等であり、当該物品の販売が１社のみである。*

*・研究で使用している機器、ソフトウェアとの互換性を確保するために必要不可欠かつ代替できない特殊機器、材料、ソフトウェア等であり、当該物品の販売が１社のみである。*

*・既に購入した機器、プログラム等の保守、修理、改造等を行うにあたり、当該機器等のメーカ以外から調達した場合、機器等の使用に支障が生じる恐れがある。*

*・技術的なノウハウ流出の防止を目的として既に自社事業において選定業者との契約等があり、別の業者から購入した場合、ノウハウ流出の恐れがある。*

*（価格の妥当性）*

*・価格の妥当性について、表等を用いて詳細に説明してください。*

*（例）*

*・過去に購入実績のある同等品や類似品との価格の比較。*

*・過去に同様の外注等を行った場合、過去の見積書等に記載された工数、単価の比較。*

*・カタログに定価表が示されている場合、その価格。*

*・価格の比較が困難な場合は、工数や単価等の算出根拠を明確に示してください。*